

大規模改修工事にともなう休館等について

1. 大規模改修工事の概要

県立文書館は昭和58年の開館から34年が経過し、施設設備の老朽化や不具合が進行し、空調設備、消防設備、電気設備、給排水設備、エレベータなどを更新しなければならなくなりました。

機械室や屋上、各階の大型機器や館内に張り巡らされたダクトなどもすべて交換します。天井や床を打ち抜き、空調や電気も停止してしまうため、すべての資料を館外に移転せざるをえない工事となります。

2. 大規模改修工事にともなう休館等の予定

このため、以下のとおり、工事前の搬出、工事、工事後の復帰の3段階、約2年間にわたり、休館及び仮事務所での暫定開館となる予定です。

時 期		開館状況	資 料 閲 覧
平成 29 年 度	6～10月	<u>休館</u>	○ すべての資料を点検、梱包のうえ外部保管庫に移転させるため、資料閲覧は休止となります。
	29年11月 ～ 30年10月	【工事期間】 <u>暫定開館</u>	○ 収蔵資料は外部保管庫に預託のうえ、隣接するK・Sビル（武蔵野銀行県庁前支店のビル）に仮事務所を設けて暫定開館します。 2階：閲覧室 3階：事務室 ○ 資料閲覧は、事前に閲覧日時、閲覧資料を予約いただき、外部保管庫から仮事務所へ取り寄せての閲覧となります。 ○ 閲覧できる資料は、行政文書（重要文化財原本を除く）、古文書複写本（県史編さん資料、他機関所蔵資料を除く）、埼玉県撮影航空写真、戦後報道写真です。
平成 30 年 度	30年11月 ～ 31年3月	<u>休館</u>	○ 館内設備の復旧、外部保管庫からの資料の搬入、配架のため、資料閲覧は休止となります。

3. リニューアル・オープン

- **平成31年4月2日（火）**を予定しています。
- ただし、重要文化財（県行政文書）及び県指定文化財・貴重文書等の原本は、平成32年1月の閲覧再開を予定しています。